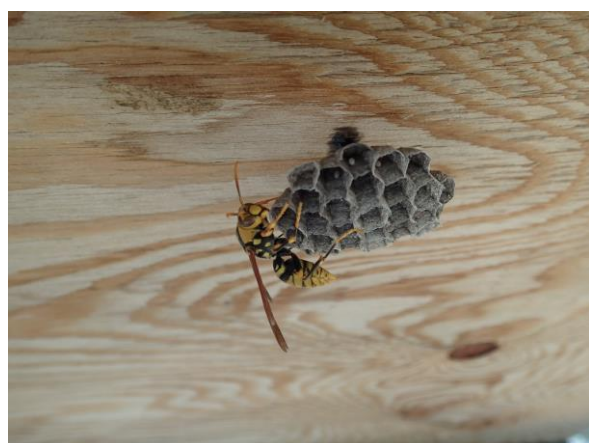
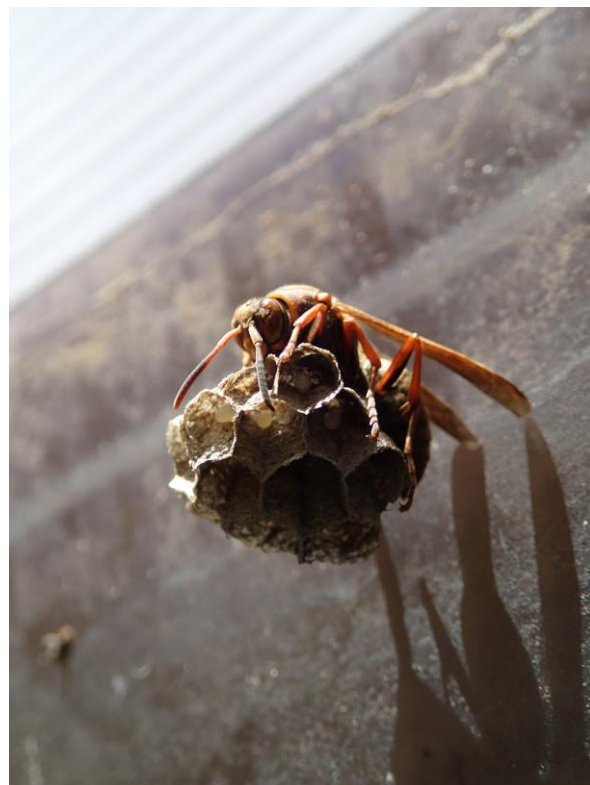
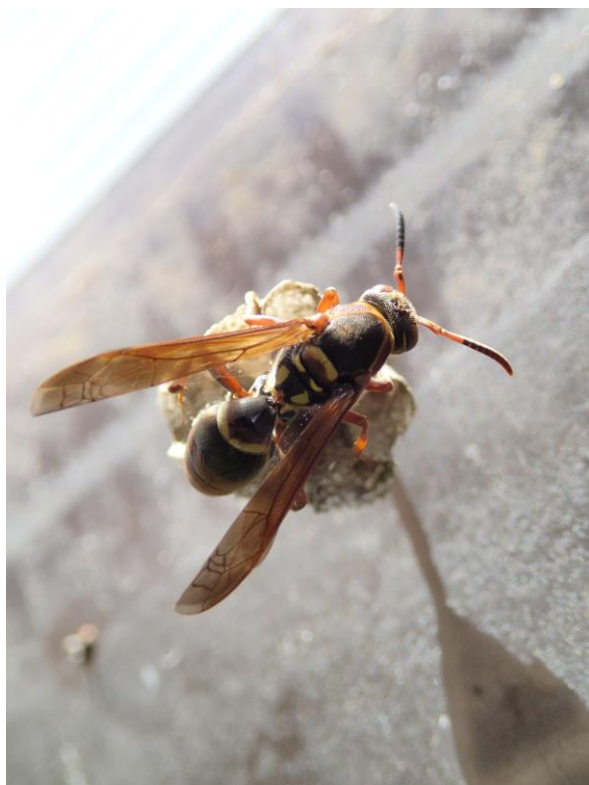


〈ハチの巣作り〉

アシナガバチの仲間だろうか、巣作りをしているハチを見つけた。ぶどう棚の下、腰かけ用の横板の後ろ側にプラ製の板があるがそこに作っていた。地面から40cmほどの高さにあった。視線をかなり下に向けないと見つからない場所だ。この時期は女王バチが一匹で巣作りをすると言う。ある程度できたところで産卵し、子育てをして働きバチを増やしていく。そうすると巣作りは俄然勢いを増してどんどん大きくなる。一般的にハチは危険生物としてみなされ、マムシやダニ、ケムシなどと同じように人に嫌われ恐れられている。事実何度か刺されたことがあり、痛い思いもしている。が、肉食の彼らは農作物を食い荒らす害虫退治には有益な生き物なのだ。主にイモムシ類を食べてくれるので無農薬の畑には有難い存在だ。だから、駆除はしない。そのまま仲間を増やしてもらい、除虫スタッフとして働いてもらう。畑で作業している分には刺されないので安心して増えるのを待つ。



☞こちらは去年巣作りをしていたハチだが、巣が大きくなる前に女王バチがいなくなってしまう。何かに襲われたか、病気にでもなったか、はたまた災害に見舞われたか？ハチといえども生き残るには大変な苦勞を強いられるのだろう。毎年、畑のどこかに巣作りするハチだが、大きくなった巣には未だお目にかかってない。今年こそは巣作りに成功し、思う存分イモムシを食べて欲しいと願う。